

2022年2月3日

西部ガスへのカーボンニュートラル LNG 供給について

東京ガス株式会社 広報部

東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）は、このたび、西部ガス株式会社（社長：道永 幸典、以下「西部ガス」）に対し、カーボンニュートラル LNG（以下「CNL」）の供給を開始しました。なお、初回供給量約7万トンの CNL は、昨日、西部ガスのひびき LNG 基地に到着しました。

東京ガスは、2019年6月に日本で初めて CNL の導入を決定し、これまで50件以上のお客さまにカーボンニュートラル都市ガスとして提供しています。CNL は、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの全工程で発生する温室効果ガスを、CO₂クレジットで相殺（カーボン・オフセット）する LNG で、今回の CO₂ クレジットは、信頼性の高い認証基準の下、第三者検証機関による検証を経て、森林保全プロジェクトにおける CO₂ 削減効果を認証・発行されたものを活用しています。

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において、東京ガスグループの事業活動全体で、お客さま先を含めて排出する CO₂ をネット・ゼロにすることに挑戦することを掲げています。CNL 供給をはじめさまざまなソリューションの提供により、お客さまとともに地球規模での環境負荷低減への取り組みをこれからも推進してまいります。



<LNG 船がひびき LNG 基地へ入港した様子>

以上